



令和6年度 **東員町立城山小学校**
 〒511-0233 員弁郡東員町城山1丁目48番地
 TEL 0594-76-9046 FAX 0594-76-9014
 e-mail:siroyama-jimu@mie-toin.ed.jp

学校教育目標

「仲間とつながり 高め合う子ども」

【めざす学校像】

「明日が待ちどおしい学校」「子どもが主役の学校」をめざして

【めざす子ども像】・・・**チョウの里 城山**

- ・考え動く子
- ・のびのびあいさつする子
- ・最後までやりぬく子
- ・友達を大切にしている子

【研修主題】

「児童一人ひとりが主役となる授業の創造」

～休み時間に見せるような、子どもたちの生き生きとした姿があふれる授業をめざして～

【重点課題】

- 教師と子どもの「基本的信頼感」の構築
 - 安心できる学習集団づくり(道徳教育の推進)
 - 「関わる力」育成のための研修の充実(2:安心・いきいき)
- だれ一人取り残さない D層10%未満への取組
 - 「わからない」と言える授業づくり(1:リーディングスキル)
 - 学力向上に向けた取組(ボランティア、チーム学校での子ども支援)
- 保護者・地域との連携
 - 子育て「20のポイントの理解」の向上(3:愛情いっぱい)
 - 地域連携の取り組み(城山音頭・学習ボランティア)
 - 子どもの自治的活動の推進(児童会活動・あいさつ運動)



城山小学校では、16年一貫教育プランを受けて、たてわり班活動を大切にしています。異学年とのかかわりを大切に、教えたり、教えてもらったりする中から、達成感や周囲からの承認を得て、社会的に勤勉な人格の基礎となる力が育まれます。

第7次3つの提言

城山小学校校歌

作詞 佐藤ひろし
作曲 欠塚 勉

一、お城の跡の丘の上

白い校舎の三角屋根は
弁天山と背くらべ
ぼくとわたしも励ましあって
大きく強く伸びていく
楽しい城山小学校

二、みどりりと花の町並木

並ぶひとみのかがかやく窓に
ひばりの歌が呼びかける
ぼくとわたしも声かけあって
たしかな力つけていく
明るい城山小学校

三、ぎんぎら光る員弁川

澄んだ青空展望台も
広い世界につづいてる
ぼくとわたしも手をとりあって
あしたに夢を追っていく
希望の城山小学校

4月 9日(火)	入学式(午前) 11:30下校
4月10日(水)	給食開始 13:45下校
4月11日(木)	通常時間割開始 1年生は14:00下校
4月12日(金)	1年生は14:00下校
4月15日(月)	1年生は14:00下校
4月16日(火)	1年生は14:00下校
4月20日(土)	授業参観(1限)・PTA総会学校説明会(2限目)・懇談会(3限目) お弁当
4月22日(月)	振替休日
4月30日(火)	たてわり遠足(予備日2日)
5月16日(木)	月曜時間割(1・2・3年生は14:35の下校に4・5・6年生は15:30の下校になります)
6月19日(水)	授業参観(5限)・引き渡し訓練(6限)
7月10/12/16/17	個別懇談 13:30下校
7月14日(金)	1～5限目が月曜時間割にて6限目がクラブ
7月18日(木)	大掃除 14:15下校
7月19日(金)	1学期終業式11:30下校
7月22日(月)	5・6年デイキャンプ(日帰り)
8月 6日(火)	全校登校日(午前)
9月 2日(月)	2学期始業式
10月24日(木)	運動会(午前)
12月 3日(火)	マラソン大会 予備日5日(木)
12月16/17/18/19	個別懇談会
12月23日(月)	2学期終業式
1月 8日(水)	3学期始業式
2月14日(金)	授業参観(1限目授業参観・2限目講演会予定)
3月19日(水)	卒業式
3月25日(火)	修了式

城山小学校いじめ防止の取り組み
年間3回の児童アンケート、1学期、2学期のQ-U調査などから、子どもの様子を把握します。また、学校説明会において、「いじめは絶対に許さない。お子さんの様子で少しでもおかしいことがあれば、教えてください」と保護者にも啓発。休み時間も含めて、複数の目で子どもの様子を確認することで、いじめを未然に防ぎ、早期発

マラソン記録会、2学期後半からのなわとびの取り組みで、体力向上を目指します!

外国語活動は3年生、4年生で週1回、教科としての英語は5年生・6年生で週2回進めています。

令和6年度 研修方針 東員町立城山小学校
児童一人ひとりが主役となる授業の創造
 ～休み時間に見せるような、子どもたちの生き生きとした姿があふれる授業をめざして～

取り組みステップ1 「聴く」を軸とした学習集回づくり
 4月 | 児童が主役の授業の環境づくり
 ①「聴きかためいじん」【はなしかためいじん】を活用し「相手の目を見て聴く」等、学習環境の確立。
 ②以下の指示物を読み、できている児童をほめたり、認めたりすることで、「聴く」の大切さを学習に意識させる。

取り組みステップ2 「分からない」と、自分から言える教室
 1学期 | 安心感・信頼感のある仲間づくり
 ①「分からない」「学びたい」という意欲の醸成し、困り感のある児童【視点児童】に寄り添い「分からない」を言葉に。「分かる!」を授業のゴールへ。
 ②安心して、自分から「分からない」と言える教室をつくるために【あなたらしい聴き方】や【やさしい話し方】を活用し、「対話的な学び」の充実を図る。

取り組みステップ3 チーム学校で取り組むこと | 「聴く」を軸とした学習 分からないと言ええる教室 めざす授業像の体現
 どのよう学ぶか | ステップ表・ノート学習
 ①【ステップ10】を活用し、1年間めざす授業像を子どもたちと共有する。最終目標は友だちの意見を聴いて考え、自分の出席でつなげて話すことである。

令和6年度 **特別支援教育推進計画** 東員町立城山小学校

基本理念
 「障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けて支援するという視点に立ち、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う。」

特別支援学級経営方針
 ①子どもと保護者に関して
 ②児童の実態(能力・特性)を把握し、個に応じた教育を行う。
 ③集団指導と個別指導を適切に組み合わせて指導する。
 ④交流学級との連携を密にし、児童が安心して学べる環境を考え、理解が深まるように支援する。
 ⑤「障がい」とはわからないのではなく、個々の困り感を見逃さず、個に応じた指導を考案する。
 ⑥児童と心をつなぎ、信頼関係の上に指導することを心がける。
 ⑦保護者との連携を大切に、学校と家庭が協働して育てる姿勢を基本とする。
 ⑧発達検査等の客観的データを参考に、児童の成長を確認したり、困り感を把握したりして、より良い指導に生かす。
 ⑨全教職員が子どもたちの実態(能力・特性)、状況把握し、理解を得る。
 ⑩担任・学習支援員をはじめ、全職員は守秘義務に努め、人権尊重の意識を持って指導する。

CLM 7つのポイント
 Point 1 見通しを持たせる
 Point 2 注目をさせる
 Point 3 視覚で支援する
 Point 4 指示の仕方を工夫する
 Point 5 モデルで示し行動を促す
 Point 6 褒め方と場面づくりを心がける
 Point 7 褒める三重構造を意識する
 すべての子どもにとって分かりやすい支援を!

特別支援教育支援体制について
 特別支援教育校内推進委員会
 (構成員)校長・教頭・特支コーディネーター・特支担(交流学級担)等
 特別支援教育コーディネーター
 ①校内の関係者や関係機関との連絡調整(巡回相談・教育相談)
 ②校内特別支援教育推進委員会の企画・運営
 ③通常学級在籍で支援を要する児童についての相談、学級へ巡回
 ④時間割支援体制の整備、調整
 ⑤保護者の相談
 ⑥個別の指導計画の取りまとめ
 (特支担・巡回担当児童・通常学級で支援を要する児童は作成する。)
 ⑦「特別支援教育推進計画」の作成
 ⑧「特別支援教育推進計画」の作成
 ⑨「特別支援教育推進計画」の作成
 ⑩「特別支援教育推進計画」の作成